令和3年度 学校関係者評価報告書

専門学校ファッションカレッジ桜丘は「夢の創造」・「文化の創造」を提供し続けるエクセレント・カレッジ(excellent college)を目指すことを標ぼうし、夢を創造し、文化を創造することが、ファッションを教授する服飾系高等教育機関の基本と考える。

専門学校ファッションカレッジ桜丘自己評価の結果に関して客観性と透明性を高めるとともに、学外の有識者から専門的助言を受け、外部評価を得ることを目的として学校関係者評価を実施しましたので報告致します。

1、実施年月日 令和4年3月31日 実施校 専門学校ファッションカレッジ桜丘

2、学校関係者評価委員

小野芳行(元 YKK 株式会社)

椎野伝一(有限会社丸伝代表取締役 流通総合コンサルタント)

西室充子(卒業生 日本ファッションクリエーター協会)

学校関係者

関 太(校長)

岩嵜達弥(事務長)

菊池伊都子(教務部長)

3、評価方法

令和3年度 専門学校ファッションカレッジ桜丘自己評価報告書に対する 学校関係者評価

4、評価項目

- (1) 教育理念:目的:人材育成
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学習成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の募集と受入れ
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献·地域貢献

令和3年度 自己評価報告書

学校法人桜丘学園 専門学校ファッションカレッジ桜丘

基準1. 教育理念・目的・人材育成

学園の教育理念に基づき、時代や社会、産業界が求める職業人を育成することを目的として学園は新たなフェーズに入った。新型コロナウイルスの影響を受け、社会全体が急速にデジタル化に舵を切った1年であった。学園も第七分野(服飾・家政)ファッション専門課程に加え第一分野(工業)デジタル専門課程の認可を受け教育を開始し、IT分野における知識と技術を学内に蓄積することができた。ファッション専門課程の学生にITの知識をデジタル専門課程の学生にファッションの知識を習得させることによりファッション産業界に貢献できる新しい人材育成のスタートラインに立てた1年だった。

基準1. 教育理念・目的・人材育成に関してご意見をお聞かせください。

*教育目標として就職内定がゴールのような印象があります。

<u>専門学校の人材育成としては、あくまでも企業入社はスタートであり、入社後の即戦力</u>たりうる人材を企業は求めているのではないでしょうか?

又入社後に更なるキャリアを積んでいくための他の四大卒業生にはない、専門的な知識や 技術を身に付けさせる役割があると思います。(特に技術系カリキュラムのないビジネス科) 現状では一般の学力だけでなく専門分野の知識さえも大卒に至らないように思われます。

*新型コロナウイルスの影響で大変な時期だと思います。思考錯誤しての運営が推察されます。第七分野の服飾家政だけではなく、第一分野の工業を取り入れたことは時代に即した選択で評価できます。絶えずアンテナを広げて新たに教育の幅を広げて下さい。

*新型コロナウイルス禍での大きな社会変革期にあって、デジタル専門課程を開設し、 | T分野における知識と技術を学内に蓄積することができたとのこと。

理事長を初めとした皆様方のご努力敬服いたします。何よりそれだけに留まらず、ファッション専門課程の学生さんに | T知識をデジタル専門課程の生徒さんにファッションの習得をさせることによりファッション産業界に貢献できる新たな人材育成のスタートラインに立った | 年とのこと。このような融合教育の深耕と継続により、新たな教育機会の提供並びに人材教育維持・継続・拡充を通して更なる教育現場の高みを目指してください。

(現在では洋服を造る知識、技術がキャリアにならない時代になっています。流通過程の職場においては、ファッションスクールの卒業生と一般大学の卒業生と差別化が難しい状況です。専門学校は柔軟性が特徴の一つでもあります。リアルタイムに業界が求めている能力を見極め、人材育成を追求していきたいと思います。また、環境が急速にデジタル化にシフトしています。ファッションスクールの学生であっても避けては通れない環境の変化です。時代にマッチした人材育成を目指し、デジタル専門課程を設置しました。カリキュラムの内容を更に深化させたいと思います。)

基準2. 学校運営

18歳人口の減少に対応するために、平成28年に国際・流通・ITビジネスコースを立ち上げ、留学生教育に参入し6年が経過した。今回第一分野(工業)デジタル専門課程国際情報ビジネス科の認可を受け、教育の質と内容を更にIT化することができる体制が整った。

第七分野(服飾・家政)ファッション専門課程及び第一分野(工業)デジタル専門課程の2 課程体制で教育の幅を広げることができ、時代のニーズにあった教育が実践できた。

基準2. 学校運営に関してご意見をお聞かせください。

*留学生向けに限らず、特にクリエイト科における、IT系のカリキュラムの充実が急務かと。世界的なアパレルの過剰在庫や環境破壊の問題を解決に導くためにも、DX、VRやメタバースなどの分野でのデジタルな物つくりが企業でも喫緊の課題となっており、その分野での人材不足を補う卒業生の輩出は生徒募集や学校運営にも大いに貢献できるはずだと考えます。

*日本は少子化の傾向です。子供を産まない若者世帯が多いと聞いています。留学生教育は どの学校も考えたことですが、学園はいち早く取り組み、体制を整えたことは評価できます。 時代のニーズに合った教育が実践でき良かったと思います。

*新型コロナウイルス禍にあり、今年度も留学生の確保は厳し現状であろうと思いますが、 新たな分野第一分野(工業)などでの拡充を図り、学内での活性化が進むものと期待してい ます。理事長・先生方・職員の方々に置かれては、守備範囲も広くなり大変な事と思います がこれらの取り組みが新たなステージでの成功に結び付くものと思います。

(ファッション業界も今後更に | T化が進むと思われます。消費者との接点のオムニチャンネル化に対応できるカリキュラムの開発、人材育成に取り組んでいきたいと思います。 少子化の進行や急速なデジタル化への変化に学校教育も対応する必要を感じ、第一分野を設置。今後も時代の変化に柔軟に対応し、学びの幅を広げていきたいと思います。)

基準3. 教育活動

知識、技能の習得だけではなく、社会性を身に着けさせるため新入学時や進級時に学生指導要項の指導を徹底した。また、連絡の必要性、遅刻・欠席後の対応、清掃・片付けの必要性など細かい指導を強化し成果をあげた。ICT教育(パソコン、タブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法)を教育の基本計画として、IT能力を向上し、就職に役立ち且つ、学生のニーズの高いカリキュラムの編成として、ソーシャルメディアに対応する新規授業を導入し、情報発信力、分析力を身につけさせた。また、グラフィックワークの授業を拡充し、画像編集ソフトPhotoshopの技能を習得させプレゼンテーションの完成度を高めることができた。デジタル専門課程では、ITベンチャー企業Lance Digital Strategy社及びヒューマンテクノシステム社と連携して実践的なプログラミング、ECサイトの構築運営ができるIT技術者の育成ができた。

基準3.教育活動に関してご意見をお聞かせください。

*学校としてプログラマーや | T技術系人材の養成を目指すのならともかく、ファッション分野での専門学校をというなら、むしろ技術者では無く、ECサイトの起業、経営面での知識を身に付けさせるべきではないでしょうか?

実際面としてEC創成期に比べ、リアル店舗に対するアドバンテージはほとんどなくなっており、送料問題やECモールへの手数料高騰、競合の激化など、その経営は益々困難になっている状況の中、いかに経営のかじ取りをして行くかが各企業の問題であって、アウトソーシング化が進むシステムやアプリ開発における人材の需要はあまり期待できないのではないでしょうか。

*良く実行、運営できていると思います。

*社会のニーズに即した | T能力の向上に根差した教育への取り組み。就職に役立つ 新規授業の拡充などを通して学生たちにとって魅力のある学校(教育)の実践により注力 ください

(ファッション専門課程では、ECサイトの運営やインスタグラムを活用したセルフプロデュース力を身に着け、デジタル専門課程ではフルスタックエンジニアを目指せる技術、知識を身に着ける方向性で取り組んでいます。ファッション業界はIT化が比較的遅れている業界です。業界のニーズに答え、ITスキルを備えた人材を育成することがファッション業界に貢献できる確信しています。)

基準4. 学修成果

学習の成果を出来るだけ可視化することを目的として学園では必須検定として受験している、一般財団法人日本ファッション教育振興協会のパターンメイキング検定3級1次の筆記試験及び2次の実技試験ともに合格率が100%と優秀な成績であった。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け日程が変動したが、2年生が受験するファッション販売能力検定2級の合格率は40%、だったが1年生が受験する3級は合格率が100%と優秀な成績を収めた。2年生が受験するファッションビジネス能力検定2級の合格率は33%と全国平均を下回ったが、1年生が受験する3級は合格率100%と優秀な成績を収めた。また、必須検定の指定では無いが学習意欲が高く受験した、

フォーマルスペシャリスト検定準2級の合格率は92%、色彩技能パーソナルカラー検定 モジュール1の合格率は100%、モジュール2も75%と高い合格率を確保した。検定以 外も論理的思考や表現力、説得力など学生個々の能力向上を目的として1年生ではマーチャンダイジング、ファッション画、コンピュータワークで成果をプレゼンテーション。2年 生、3年生はファッションデザイン、ブランドクリエイションで成果発表を行う。

また学内2大コンテストであるファッションビジネス科2年生を対象とするFCSプロモーションコンテストは10月に開催し、2月開催のファッションショーでの作品を評価するFCSファッションコンテストは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け学内のみで審査をし、学習の成果はLIVE配信を中心に行った。

就職支援に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、募集企業が激減。教員がインターネット上で求人を検索して学生に紹介し就職につなげた。また、1年生へは就職支援企業の協力を得て、学内でオンラインで企業研究会を開催し、企業情報、職種情報、働く事の意義などの講義の情報を提供し、就職活動をサポートした。

基準4. 学修成果に関してご意見をお聞かせください。

*各検定資格が、各企業の採用基準においてどの程度のプライオリティがあるのか、入社後のキャリアや待遇面にどの程度影響があるのかなどを一度精査すべきだと考えます。 (現状両者の感覚にずれを感じています。)

学校での評価と企業の評価が一致してこそ、学習意欲の向上が期待できると思います。 *学習の成果が気になっていましたが、良い成績で安心しました。様々な検定対策に 関して先生方の努力を評価します。

*パターンメイキング検定3級1次の筆記試験及び2次の実技試験ともに合格率が

100%と基礎(教育)は素晴らしく、この教育の拡充などを通して、次のスッテプアップへと是非繋げて欲しい。

(基本的に国家資格の存在しないファッション産業で、学習の成果を可視化するツールとして検定を活用しています。計画的な学習プラン、模擬試験など学習結果検証、学習の習慣化、用語の暗記など学習のプロセスを重視しています。新型コロナウイルスの影響で学外、学内の行事が減り、知識、技術の習得時間が増加した結果、検定の受験率及び合格率は向上しました。コロナウイルス収束後もこの習慣は継続したいと思います。)

基準5. 学生支援

1年生の31%、2年生の32%が奨学金を含め就学の支援を必要としている。令和2年度も高等教育の就学支援新制度の認定を受けて学生の支援体制を充実させることが出来た。また、新型コロナウイルスに感染することは、それ自体で治療、健康観察を含め2週間以上学校を休むことになる。その機会損失を負わせない為にも感染対策の啓蒙と衛生管理を徹底した。就職支援に関してはオンラインでの企業説明会を企画、開催し早期に情報提供を行う。また、1年次後期よりキャリアデザインの授業をカリキュラムに組み込み、就職意識の早期醸成に努め一定の成果を上げることが出来た。

<u>基準5. 学生支援に関してご意見をお聞かせください。</u>

*優秀な入学希望者や在校生に対して、入学金や授業料の全額免除などの特待生制度を導入したら如何でしょうか。

入学意思決定や学習意欲向上への大きなモチベーションになるのではないでしょうか。
* 就職活動は前倒しになっており、1年次よりキャリアデザインのカリキュラムを導入することは良い効果が期待できる。早期に就職意識を醸成し内定率を上げて欲しい。
* 日本全体での長引く閉塞感やこれに追い打ちをかけるような新型コロナウイルス禍もあり、多くの就学生が大変な思いをされているものと推察いたします。このような状況下であるからこそ学生に寄り添う教育(環境整備)に尽力されているとのこと。是非、この継続と拡充をお願いいたします。

(入学制度の中で、AO入学は入学金全額免除、学校推薦入学は入学金半額免除を実施しています。特待生制度は現在ありませんが検討したいと思います。専門学校は就職予備校的要素があり、関連業界に就職することは必須です。就職希望者100%就職を目指して、今後も対応にあたりたいと思います。)

基準6.教育環境

新型コロナウイルスの感染が長期化した現状、実習中心型である授業ではあるが、一部では リモートの授業をトライアルで実施した。一方的な講義で140分間続けるには、教師、学 生双方に相当なストレスがかかった。今後は、リモートでの講義と個人ワークを組み合わせ て変化のあるリモート授業を実現したい。また、昨年も実施したオンラインでの企業研究や 就職活動用において印象良く相手に伝えられるように照明やカメラアングルなどを研究し 効果をあげた。

基準6. 教育環境に関してご意見をお聞かせください。

*今後も感染状況によってはリモート授業の必要性が増したり、授業での円滑な PC 使用などを考慮すると、入学時の準備物に PC を加えたらどうでしょうか。

個人がPCを持てば、持ち帰り課題などを与えることや授業時間外での資料作成もでき、 学生自身のPCスキルの向上や学習意欲の高い学生のレベルアップにも貢献できます。 *学内での新型コロナウイルス対策の徹底を継続して頂き、学生に対して学習効果の 高い方法で教授して下さい。

*私見として、ファッション系の授業では対面教育がMUSTと思っていましたが、 リモート授業にもトライされたとのこと。必ずやこのようなトライアルは貴重な財産と なるものと確信いたします。ご足労並々無いものがあろうかと思いますが、是非 継続・ 拡充を図っていただきたく思います。

(タブレット端末を導入することも検討したが、学生の自宅での通信環境に個人差があり、平等に教授できるか障害があり導入を見送った。時代の変化もあり今後も継続して検討したい。 I C T 教育は時代の流れでもあり、今後も強化していきます。)

基準7. 学生の募集と受入れ

新型コロナウイルス感染の収束が見えない状況が続き、一斉集合型の体験実習、学校説明会から生徒個別に対応する相談会にシフトし、生徒の安心、安全に配慮する学生募集とした。 ITC化促進の一環として、Instagramを活用した情報発信を行い、ノウハウの蓄積とともに一定の成果をあげた。また、WEBマーケティングのコンテンツとして最も効果があるとされているPR動画を作成。動画配信によりより短時間で印象的なコンテンツで文字情報より高い宣伝効果が得られた。Instagram広告の活用やリスティング、リマーケティング広告を実施し、自校ホームページ、スマートフォンページに誘導し来校促進が図れた。

基準7. 学生の募集と受入れに関してご意見をお聞かせください。

*学校生活の紹介だけでなく、卒業生の業界での活躍や業界の新しい動き(新業態や社会 貢献など)を取り上げて欲しいと思います。卒業後の充実した社会生活の姿を見せること で、将来の希望を感じさせることができます。またファッション業界の素晴らしさを紹介 することで、業界への期待感や学習意欲の向上につながるように思います。

*学生募集は年々厳しさを増します。 P R 方法を工夫して成果を上げて下さい。

*正直申し上げて意見を申し上げる程の知見がなく、意見を申し上げるのも憚れるのですが、PR動画の作成・配信などは有効なツールと思います。

(数名の卒業生の就職先での活躍を紹介はしているが、表現方法に具体性は欠いている。 卒業後のビジョンを入学希望者に提供するのは、重要な事なので今後は更に進化させたい。学生募集の広報活動は労務提供型からデジタル化にシフトしています。しかし、学校 見学、体験授業は旧態依然の状態です。今後、変えていきたいと思います。)

基準8. 財務

学生納付金収入はファッション専門課程は安定しているが、デジタル専門課程は外国人留学生に依存しているため、新型コロナウイルスの影響を受け不安定化してきている。デジタル専門課程も高校生や大学の卒業生を主力に外国人留学生に頼らない状態を早期に構築したい。また、流動資産の金銭信託の運用に関しては従来短期売買型で高リスク運用であったが、決算状況を考えながらの中長期の資産運用に変更した。資産の健全化に向けて、外国株を中心とする成長分野の投資信託の購入やGAFA+Mを中心とするグーグル、アップル、

アマゾン、マイクロソフト株に中長期に投資を行った。

基準8. 財務に関してご意見をお聞かせください。

- *特にありません。
- *独断にならず、今後も情報開示しながら安全に適切に進めて下さい。
- * 貴校の資産運用には敬服観を抱きますが、一方でやはり教育活動(特に学生納付金)収 支での均衡が望まれる。

(投資方針を明確にし、理事会、幹部会で情報公開しながら適切に進めていきます。)

基準9. 法令等の遵守

警視庁、東京都、千代田区からの情報に関しては、必要に応じて教職員は朝礼及び全体会議、 教員会議で伝達され、学生に於いては午前午後のホームルールで伝達されている。学生に対 しては法令違反を未然に防ぐため、講習会や冊子の配布を適切に実施している。また、教職 員の修業関係関連規則は全てを見直し、現行法令に即して修正を加え、パソコン上の共有フ オルダーに保存されいつでも閲覧できる状態を継続。

基準9. 法令等の遵守に関してご意見をお聞かせください。

*今年度から、成人年齢が18歳に引き下げられたことで、従来よりも学生の遵法意識が問われるようになりました。また様々な契約や社会的責任の重要性も増し、ますます学生自身の自己責任が問われることへの危機感の醸成と意識向上に向けての指導が不可欠に。

- *適切に情報の運用、学生指導がされていて評価できます。
- *法令順守は団体活動の根幹と云っても過言ではない状況(時代)であります。個人の領域には関わることでもありその実践は困難も伴うことかと思いますが、学校全体での取り組みと捉え実践をお願いいたします。

(学生自身は成人である認識は薄く、高校生の延長線上にいる。法令順守と責任の ある行動をするよう指導していきたい。主権者教育の徹底と18歳成人の義務と責任の 教育を継続して行っていきたいと思います。)

基準10. 社会貢献·地域貢献

平成24年11月より地域貢献の一環として学校施設、設備を使って洋服などを自由に創作できる「ミシンLabo桜丘」をスタートして10年近くが経過。担当教員の産休、育児休暇や新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和3年4月に休止することとなった。また、新たな形で地域貢献、社会貢献を検討していきたい。また、新型コロナウイルスの感染継続の中、学生自身には外出を自粛するなど行動制限により学生個々が注意を払い、感染リスクを減らすことが新型コロナウイルスの早期収束に向けて責任ある行動であるため、その啓蒙活動を徹底した。

基準10. 社会貢献・地域貢献に関してご意見をお聞かせください。

*学生たちに、地域の養護施設や児童施設などに定期的に訪問してもらい、ボランティアとしてファッション分野でのワークショップの実施やパフォーマンスを披露したら?

<u>例)ハロウィンパーティ、クリスマスパーティ</u>

手作りグッズ(パッチワーク、刺繍、「シャツプリント、等)の製作

チョコレート作り教室、歌やダンスの披露、ゲームやクイズ大会、抽選会 *地域貢献の成果、評価を検証するとともに、今後も新しい取り組みを検討して下さい。 *社会貢献・地域貢献なども人が介在してこそといった面が否めなく、このコロナ禍での 対応は困難と推察されます。完全にコロナが無くなる時が来るのか甚だ疑問(個人的に は)

ではありますが、コロナ明けの暁には「ミシンLabo」の再開を初めとした取り組みの 実践をお願いいたします。

(本校の周辺は大規模再開発地域である為、地域貢献への取り組みへの継続性が担保 しにくい状況です。しかし、今後は新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、検討して いきたいと思います。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、学生の安全を第一に考え 外部との交流を極力避けて運営してきました。今後は非接触でも貢献できる分野を開拓 して推進していきたいと思います。)